

3 委員会

(1) 編集委員会

編集委員会は、研究成果の刊行企画及び編集に関する業務の円滑かつ適正な運営を図ることを目的に設置されている。

平成16年度は40回（持ち回りを含む）開催された。

主な議事内容は以下のとおり。

第1回（平成16年4月14日）

- 1) 『農林水産政策研究所年報（平成15年度）』について、掲載内容及びスケジュール等を決定。
- 2) レビューは編集委員会からの依頼原稿により編集するものであることを確認。

第2回（平成16年4月28日）

- 1) 『農林水産政策研究所レビュー』No.12の原稿内容を決定。

第3回（平成16年5月24日）

- 1) 農林水産政策研究所英文年報『PRIMAFF Annual Report 2003』について、編集体制、編集方針及びスケジュール等を決定。
- 2) 『農林水産政策研究所年報（平成15年度）』について、編集内容の変更及び刊行を決定。
- 3) 『農林水産政策研究成果情報（平成15年度）』の刊行を決定。
- 4) 危機管理プロジェクト研究資料第1号「食料・農業の危機管理に関する社会科学的アプローチ」の刊行を決定。

第4回（平成16年6月18日）

- 1) 『農林水産政策研究所レビュー』No.13の掲載予定内容及びスケジュールを決定。
- 2) 『要覧』の更新を決定。
- 3) 「研究員等の所内誌投稿状況に関する指標」について、次回以降の編集委員会で議論することで了解。

第5回（平成16年8月11日）

- 1) 『農林水産政策研究所レビュー』No.13の原稿内容を決定。
- 2) 「研究員等個人別所内誌投稿状況に関する指標」の修正案を了承。

第6回（平成16年9月24日）

- 1) 以下の内容で『農林水産政策研究』第7号として刊行を決定。
 - ・橋詰登著「中山間地域における農業集落の存続要件に関する分析」
 - ・恒川磯雄著「農業所得税申告書の利用可能性に関する一考察——「クロヨン」に関するマクロレベルの検討——」
 - ・河原昌一郎著「中国の食糧政策の動向——保護価格政策から国際競争志向価格政策へ——」
- 2) 行政対応特別研究（FTA・WTOプロジェクト）研究資料第1号の刊行を決定。
- 3) 『農林水産政策研究所レビュー』No.14の掲載予定内容及びスケジュールを決定。
- 4) 農林水産政策研究所英文年報『PRIMAFF Annual Report 2003』の刊行を決定。

第7回（平成16年11月12日）

- 1) 『農林水産政策研究所レビュー』No.14の原稿内容を決定。

第8回（平成16年12月16日）

- 1) 『農林水産政策研究所レビュー』No.15の掲載予定内容及びスケジュールを決定。
- 2) 「研究員等個人別所内誌投稿状況に関する指標」の修正案を了承。

第9回（平成17年2月7日）

- 1) 『農林水産政策研究所レビュー』No.15の原稿内容を決定。
- 2) 以下のプロジェクト研究資料の刊行を決定。
 - ・ライフスタイルプロジェクト研究資料第2号『公的機関の定住対策とIターン者の実態——島根県のケーススタディ——』
 - ・危機管理プロジェクト研究資料第2号『食の安全・安心と環境意識・トレーサビリティに関するインターネット調査と定量分析』

第10回（平成17年3月16日）

- 1) 『農林水産政策研究所レビュー』No.16の掲載予定内容及びスケジュールを決定。

持ち回り編集委員会

刊行決定等に関する持ち回り編集委員会は以下のとおりである。

（平成16年6月23日）

- a) 『農林水産政策研究』（恒川磯雄著）の和文タイトルの変更を決定。

（平成16年7月20日）

- a) 『農林水産政策研究』（恒川磯雄著）「農業所得税申告書の利用可能性に関する一考察——「クロヨン」に関するマクロレベルの検討——」（研究ノート）の刊行及び英文タイトルを決定。

（平成16年8月27日）

- a) 『農林水産政策研究』（河原昌一郎著）の和文及び英文タイトルの変更を決定。
- b) 『農林水産政策研究』（橋詰登著）「中山間地域における農業集落の存続要件に関する分析」（研究ノート）の刊行及び英文タイトルを決定。
- c) 『農林水産政策研究』（河原昌一郎著）「中国の食糧政策の動向——保護価格政策から国際競争志向価格政策へ——」（研究ノート）の刊行を決定。

（平成16年11月29日）

- a) 『農林水産政策研究叢書』（香月敏孝著）「野菜作農業の展開過程——産地形成から再編へ——」の刊行及び英文タイトルを決定。

（平成17年1月6日）

- a) 『農林水産政策研究』（河原昌一郎著）「中国における農村金融の展開と農村信用社の組織的性格」（論文）の刊行及び英文タイトルを決定。
- b) 『農林水産政策研究』（藤岡典夫著）「予防原則の意義」（研究ノート）の刊行及び英文タイトルを決定。

（平成17年1月21日）

- a) 『農林水産政策研究』（立川雅司著）「欧州における遺伝子組換え政策の動向——英国および欧州委員会の動きを中心に——」（調査・資料）の刊行及び英文タイトルを決定。

ルを決定。

b) 以下の内容で『農林水産政策研究』第8号として刊行を決定。

- ・河原昌一郎著「中国における農村金融の展開と農村信用社の組織的性格」(論文)(上)
- ・藤岡典夫著「予防原則の意義」(研究ノート)
- ・立川雅司著「欧州における遺伝子組換え政策の動向——英国および欧州委員会の動きを中心に——」(調査・資料)

(平成17年3月22日)

a) 『農林水産政策研究』(佐々木宏樹著)「コメ生産権取引実験と制度設計への含意」(研究ノート)の刊行及び英文タイトルを決定。

(平成17年3月31日)

a) 『農林水産政策研究』(上林篤幸著)「牛肉の国際貿易の構造変化とその影響——AGLINK モデルを利用したシナリオ分析——」(調査・資料)の刊行及び英文タイトルを決定。

『農林水産政策研究』『農林水産政策研究叢書』のレフェリーの決定及び査読結果の通知等に関する持ち回り編集委員会は以下のとおりである。

(平成16年4月12日) (平成16年4月21日) (平成16年5月26日)

(平成16年6月23日) (平成16年7月1日) (平成16年7月2日)

(平成16年7月29日) (平成16年7月30日) (平成16年8月27日)

(平成16年9月30日) (平成17年3月25日) (平成17年3月28日)

(2) 図書委員会

図書委員会は、図書資料の収集、管理、利用等の図書館業務及び研究成果の配布等の円滑適正な運営を図るため設置されている。

図書委員会は平成16年度に4回開催された。

主な議事内容は次のとおりである。

第1回(平成16年4月24日)持ち回り委員会

平成16年度所内刊行物の配布について、事務局提案の「平成16年度刊行物配布計画」を承認した。

第2回(平成16年7月22日)

- 1) 平成16年度図書資料購入費の実行計画について審議し、事務局提案の実行計画(12,505千円)を承認した。
- 2) 高額図書1点の希望があり、審議の結果購入することとなった。
- 3) 新規購入希望のあった継続図書が4点あり、承認された。うち中国統計年鑑は高額であるため、共通洋書の経費から200千円を補填することとした。
- 4) 海外電子図書の購入について前年どおり購入することとした。
- 5) 農林水産技術会議事務局が行うデータベース拡充作業に今年度も参加し、当所書誌データ20,000件の入力・バーコード処理を行うこととした。
- 6) 図書館の配架スペースが狭隘となっているのでロシア語・東欧図書、和書の一部の

配架場所を変更することとした。

7) 平成17年洋雑誌の選定については、次回図書委員会にむけて削除候補誌リストを提示し、意見集約を要請した。

8) 都道府県年鑑については最近寄贈が中止され、かつHPで公開されるものが増えてきているが、利便性・当所のスタンスとして継続して購入により入手することとした。

第3回（平成16年9月16日）

1) 平成16年度契約の洋雑誌価格が約9%の値上げを想定され、543千円の増額が考えられるため、22誌423千円を削除することを決定した。また、新規購入雑誌については2誌57千円を購入することとした。

2) 当分の間、図書の購入手続きのうち会計課担当分の一部を図書課で行うこととなった。ユーザ側の購入手続きは従来と変更なし。

3) 図書資料保存業務については、今年度から電子媒体での複製・保存も行うこととした。

第4回（平成17年1月24日）

1) 平成16年度図書資料購入費の執行状況について報告した。残額については予算の範囲内で使用する。

2) 購入希望のあった海外電子図書1点については内容は妥当であり予算内であるため、購入を了承された。

3) 購入希望のあった高額図書1点は特定のプロジェクト予算での購入は難しいため、高額図書予算で購入することが了承された。なお、高額図書予算枠を上回るため、不足分は図書資料購入費を充てることとした。

（3）研修委員会

農林水産省職員研修要綱（昭和39年7月10日付け39秘第366号農林事務次官通知）に基づき、農林水産省大臣官房秘書課長の依頼により実施する経済関係企画職員研修の円滑かつ適正な運営を図るため、経済関係企画職員研修委員会（以下「研修委員会」という）を設置している。

平成16度の研修委員会は、2回開催した。また、持ち回り委員会も併せて行った。

主な議事内容は次のとおりである。

第1回（平成16年4月22日）

第58回（平成16年度）経済関係企画職員研修の実施計画について報告し、意見交換を行った。

併せて、平成16年度都道府県職員経済研修の実施計画について報告し、意見交換を行った。

第2回（平成17年4月4日）

第58回（平成16年度）経済関係企画職員研修における実施時期、内容、受講者、聴講者等の実施結果を報告し、委員会の了承を得た。

また、次年度の農村振興局の職員を対象とした研修計画案及び公開セミナーについて、意見交換を行った。

持ち回り委員会

平成 16 年 6 月 11 日及び 12 月 2 日の 2 回行い、個別課題コース（2 コース）の実施について了承を得た。

（4）研究情報高度化委員会・ネットワーク管理委員会

研究情報高度化委員会は、LAN の導入や機関サーバの設置などを背景に、研究情報の高度化に関する事項について審議し、業務の円滑な推進及び効率的な運営を図ることを目的として、平成 13 年度に設置された。しかし、所内の計算機利用がパソコンに移行し、また機関サーバが撤去されるなど、設置当初の業務環境が大きく変化したことから、平成 17 年 3 月 7 日運営会議において、その廃止が決定された。その後、当所におけるネットワークシステムの円滑適正な運用と効率的な利用を図るために、農林水産政策研究所ネットワーク管理委員会が設けられた。

新しく発足したネットワーク管理委員会では、1) ネットワークシステムに関する基本方針、予算及び実行計画に関する事項、2) ネットワークシステムの管理・運営方針に関する事項、3) その他ネットワークシステムに関連する事項がそれぞれ審議される。委員会の構成メンバーは、企画連絡室長、企画連絡室研究情報開発科長、各部室及び分室の代表、農林水産研究計算センター運営規定第 2 の 4 に基づく管理責任者、及び所長が指名する職員である（長は企画連絡室長、事務局は企画連絡室研究情報開発科）。

両委員会の開催月日と報告・審議事項は以下のとおり。

・研究情報高度化委員会

第 1 回（平成 16 年 7 月 21 日）

報告事項 3 項目 1) 分室におけるネットワーク整備、2) 違法コピーの禁止と対応策、3) 購入推奨パソコン。

審議事項 3 項目 1) 政策研におけるネットワークシステム更新計画、2) サイボウズの立ち上げ、3) ネットワーク管理委員会の設置。

・農林水産政策研究所ネットワーク管理委員会

第 1 回（平成 17 年 3 月 28 日）

報告事項 5 項目 1) 年度末計算センター利用報告書の提出要請、2) MAFFIN 新システムへの移行に関わる設定変更、3) ウイルスバスターの導入、4) 異動に伴う利用者端末装置申請書の提出要請、5) Windows XP セットアップ&軽量化マニュアル。

審議事項 5 項目 1) ネットワーク管理委員会メンバーの変更（政策研 HP の管理者と幹事会推薦者を委員として加えることを決定）、2) 既存パソコンの保守対象の決定、3) 平成 17 年度システム整備計画（サイボウズ待機サーバ設置、業務用ファイルサーバ設置、監視サーバ設置、分室ルータ保守の実施）の決定、4) 平成 17 年度予算案の決定、5) 所で在庫を保有する電子媒体についての指針の提示。

（5）駐村研究員制度運営委員会

駐村研究員制度の運営に関する基本的な事項を審議するため、駐村研究員制度運営委員会が設置されている。同委員会は、所長、次長、企画連絡室長、評価・食料政策部長、地域振興政

策部長，国際政策部長，政策研究調整官（1名），研究交流科長及び所長が指名する研究員3名の計11名の委員で構成される。平成16年度には委員会が3回開催された。開催月日及び議題は次のとおりであった。

第67回（平成16年7月6日）：平成16年度駐村研究員会議の開催について

第68回（平成17年2月28日）：平成17年度の駐村研究員の委嘱及び今後の駐村研究員制度について

第69回（平成17年3月7日）：平成17年度の駐村研究員の委嘱及び今後の駐村研究員制度について

（6）研究推進委員会

研究所の研究企画及び研究進行管理の総合的検討のために，研究推進委員会が設置されており，同委員会は，所長，次長，企画連絡室長，企画科長，研究交流科長，総務部長，政策研究調整官，研究3部長及び所長が指名する研究員1名で構成される。

平成16年度の研究推進委員会の主な議題は以下のとおりである。

平成16年4月13日

平成15年度農林水産政策研究成果情報課題の選定

平成16年4月27日

平成16年度研究実行計画について

平成16年度外国出張計画及び外国人研究者招聘計画について

平成16年5月11日

平成16年度外国出張計画について

平成16年度研究実行計画について

平成16年6月1日

平成16年度外国人研究者招聘計画について

平成16年6月15日

平成16年度海外出張計画及び外国人研究者招聘計画について

平成16年度研究実行計画について

平成16年9月27日

平成16年度海外出張計画及び外国人研究者招聘計画について

平成16年度研究実行計画について

平成16年10月14日

平成16年度プロジェクト研究の進捗状況について

平成18年度プロジェクト研究課題案の早期募集と検討の開始について

平成17年度科学研究費補助金の公募について

平成16年11月1日

科学研究費補助金（平成17年度）の応募課題について

科学研究費補助金（平成17年度）の応募に関わる研究分担者の承諾について

平成16年12月6日

海外出張及び外国人招聘について

競争的外部資金の取り扱いについて

平成 17 年度地球環境研究総合推進費への応募に係る分担について

平成 17 年 1 月 17 日

平成 16 年度研究課題評価スケジュールについて

平成 17 年 2 月 17 日

海外出張計画について

平成 17 年 3 月 11 日

平成 16 年度の研究課題評価について

(7) 各種委員会名簿

注1)

○印は委員長

	編集委員会	図書委員会	研修委員会	研究情報高度化委員会	駐村研究員制度運営委員会	研究推進委員会
所長	○所長 (西尾 健)	○所長	○所長		○所長	○所長
次長	次長 (堀越孝良) [~ 16. 5.10] (山本晶三) [16.5.11 ~]		次長	○次長	次長	次長
企画連絡室	室長 (吉田泰治) 企画科長 (千葉 典) 広報課長 (早川忠志)	室長 図書課長 (森脇直基) [~ 16.12.31] 広報課長	室長 研修課長 (宮前正義) 主任研究官 (立川雅司)	*室長 企画科長 研究交流科長 (近藤 浩) *研究情報開発 科長 (小野智昭) 図書課長 *広報課長 ** 栗山賢治	室長 研究交流科長	室長 企画科長 研究交流科長
政策研究調整官	千葉 修	山本昭夫	千葉 修		千葉 修	千葉 修 伊藤正人 石原清史 山本昭夫
政策研究調査官				井上 豊 [~ 16. 7. 1] *佐藤孝一 [16. 7. 2 ~]		
総務部		部長 (藤田和久)	部長	部長 ** 入野順一		部長
評価・食料政策部	部長 (薬師寺哲郎) 吉井邦恒 [~ 16. 9.30] 藤岡典夫 [16.10. 1 ~]	部長 木下順子 [~ 17. 1.25] 田中淳志 [17. 1.26 ~]	部長 木下順子 [~ 17. 1.25] 田中淳志 [17. 1.26 ~]	部長 ** 佐々木宏樹	部長 吉井邦恒	部長 木下順子 [16.10.1 ~ 17. 1.25] 藤岡典夫 [17. 1.26 ~]
地域振興政策部	部長 (香月敏孝) 足立恭一郎	部長 佐藤孝一 [~ 16. 7. 1] 渡部岳陽 [16.7.2 ~ 16. 9.30] 松久 勉 [16.10. 1 ~]	部長 佐藤孝一 [~ 16. 7. 1] 渡部岳陽 [16.7.2 ~ 16. 9.30] 松久 勉 [16.10. 1 ~]	部長 佐藤孝一 [~ 16. 7. 1] 渡部岳陽 [16. 7. 2 ~ 16. 9.30] ** 鈴村源太郎	部長 鈴村源太郎	部長
国際政策部	部長 (渡部靖夫) 會田陽久 [~ 16. 9.30] 福田竜一 [16.10. 1 ~]	部長 會田陽久 [~ 16. 9.30] 福田竜一 [16.10. 1 ~]	部長 會田陽久 [~ 16. 9.30] 福田竜一 [16.10. 1 ~]	部長 *福田竜一 [16.10. 1 ~]	部長 福田竜一 [~ 16. 9.30] 櫻井武司 [16.10.1 ~]	部長 會田陽久 [~ 16. 9.30]
大臣官房企画評価課	企画評価課長 (今井 敏)					
事務局	次長, 広報課 長, 編集庶務	図書課	研修課	研究情報開 発科	研究交流科	企画科, 研究交流科

注1) 研究情報高度化委員会は、17. 3.14をもって廃止し、同日付でネットワーク管理委員会を設置した。

注2) *は、引き続きネットワーク管理委員会委員となった者を示す。

注3) **は、新たに委員となった者を示す。